



高島幼稚園だより

保幼小接続・小中一貫教育「高島なかよし通り学びのエリア」
(高島幼稚園・高島第二小学校・高島第二中学校)

高島幼稚園
ホームページ



50周年
キャラクター
「たんたん」



園長 井上 朋子

自然にふれた豊かな経験

先日、年長児・年中児と一緒に、どんぐりを拾いに行きました。まだ少し暑さが残っていましたが、赤塚公園の大きな樹木が日陰を作ってくれていたので、その下を歩きました。赤塚公園に到着し、中の方へ入っていくと、長く伸びた草の中をかき分けながら歩く場所がありました。困った様子も見せず、どんどん歩いて行く子どもたちの姿にたくましさを感じました。



どんぐりが落ちている場所での子どもたちの姿は、実に様々です。落ちているどんぐりを見つけたとたんに、すぐに手を伸ばしてどんどん拾う子もいれば、落ちているどんぐりをじっくりと見比べながら一つ一つ拾う子もいます。自然の中にあるものは、どんぐりだけではないので、どんぐりの帽子や葉、木の実、虫なども見つけて楽しんでいる姿がありました。



「見て、どんぐりの帽子が枝についている」「ほら、こんなに丸い!」「先生、そこに蝉の抜け殻があるよ!」と、自分が感じたことや発見したことを自分なりの言葉で表しています。今、感動したことを表したり伝えたりしているのです。



「あっ、あるね!」「本当だ!こっちにもあるよ」と、その言葉を受けて応える子がいたり、「小さいのは赤ちゃんどんぐりだね!」と嬉しそうに自分がイメージしたことを話したりする姿があります。また、自分の拾った物を互いに見せ合う姿もありました。



拾ってきたどんぐりは、翌日、子どもたちや先生方の手によって、様々な遊びへと広がっていきました。子どもたちの発想はすばらしく、様々な物ができていきました。

数日経った別の日に、年少児と一緒に、お散歩に行きました。遊具で遊んだり、追いかけっこをしたりして楽しんだ後、木陰で休んでいると、「あ、面白い雲の形」と空を見上げて言う子がいました。見ると、うろこ雲です。鮮やかな青い空に白い雲がとてもきれいです。子どもたちの気付きには、時々、大人も驚かされることがあります。



周りにある自然を自分の中に取り込んで、心を動かした経験は、豊かな体験となって、きっと心のどこかに残り続けることでしょう。自然の中に身を委ね、自分の目で見ると、様々な発見や、驚き、疑問などが沸いてきます。一人一人が抱いた感情や感覚を大切に受け止め、豊かな心を育んでいきたいと思います。

さて、体を動かすことが気持ちのよい季節の到来です。さらに様々な体験を重ねていけるようにみんなで力を合わせていきます。